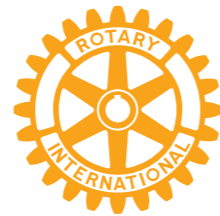


2015-2016 ガバナー月信

# GOVERNOR'S Monthly Letter 3

Rotary  
District 2510



国際ロータリー第2510地区 2015-2016年度ガバナー 嵯峨義輝

〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西11丁目4 大通藤井ビル7F TEL (011) 207-2510 FAX (011) 207-2512  
e-mail: rid2510@nifty.com <http://rid2510.org>



2015-2016年度 国際ロータリーのテーマ

# 「世界へのプレゼントになろう」

Be a gift to the world



## 国際ロータリー第2510地区 2015-2016年度 地区目標

### 1. 会員増強と維持率向上の推進

会員数5%純増

### 2. オンラインツールの利活用の推進

「ロータリークラブ・セントラル」「My Rotary」への登録、利活用推進  
ウェブサイトやSNSを活用した公共イメージの向上

### 3. 人道的奉仕活動の継続と推進

ポリオ撲滅、復興支援、国際奉仕活動の継続と推進

### 4. ロータリー財団への理解と協力支援の継続

ロータリー財団に関する情報発信  
直接的・間接的寄付の継続

**第2510地区  
重点課題**

1. クラブ戦略計画への支援

2. 新会員のフォロー支援

3. クラブサポートの強化

## Contents

●ガバナーメッセージ	1
●サンディエゴ（アメリカ）国際協議会に参加して	2
●ローターアクト海外研修報告	4
●新会員合宿セミナー報告	6
●ロータリーコーディネーターニュース	8
●ロータリー、来し方行く末	9
●米山奨学生のご紹介	10
●ポリオプラス委員会より／文庫通信	11
●米山寄付・ロータリー財団寄付／新会員のご紹介	12
●地区カレンダー	13
●出席率・会員数	14



## 残された時間はあと3分の1

国際ロータリー第2510地区

2015-2016年度ガバナー **嵯峨 義輝** (岩見沢RC)

3月です。まだまだ厳しい季節が続いていますが春は確実に一步ずつ近づいています。就任から8ヶ月が経過し、私達に残された時間はどんどん少なくなっています。私は今年度の地区目標の1番目に会員増強と維持率向上の推進を掲げました。2526人でスタートした会員数は上期終了時の12月末で2600人、74人の増加となりました。下期に入り更に皆様の増強への活動が実を結んできています。何とか目標に掲げた5%の純増を達成し、地区の活性化に努め次年度へ引き継ぎたいと思います。また入会3年未満での退会者が数多くいる実態を鑑み、維持率向上に少しでも役に立ちたいと考え、地区としてはおそらく初の取り組みとして1月30・31日に新会員合宿セミナーを開催いたしました。この企画はある程度人数が集まらなければその効果も期待できない事からガバナー補佐の皆様を通して会長・幹事さんには無理なお願いをさせて頂きました。開催時期や場所、登録料等課題は色々あったと思っておりますがプログラムの内容については参加した新会員の皆様に満足頂けるよう地区幹事を中心に組み立てたつもりであります。私も多くの新会員と膝を交え語り合うことが出来、改めて新鮮な出会いを持つことが出来ました。クラブの会長・幹事さんにはご参加頂いた新会員の皆様のフォローを更に宜しくお願い致します。

さて3月は水と衛生月間です。日本、特に北海道では水道の蛇口をひねればきれいな水がいつでも飲める、それが当たり前の状況です。広大な大地と冬の雪のおかげでダムが干上がるような事もまずありません。インフラ整備も行き届き衛生管理も徹底されています。しかし世界に目を向けるとそんな

な当たり前とと思っている事が通用しないと思い知らされます。昨年12月に国際奉仕検証でタイに行ってきました。詳細は先月の月信に松原国際奉仕委員長長の報告が掲載されていますので参照頂きたいと思いますが、ラオスとの国境沿いのブンカーンに浄水装置を設置しました。設置場所は3つの病院であります。もちろん水が無い訳ではありません。ただ、それは高価で患者さんが簡単に手に入れられるものではないのです。病院ですら安全で安心して口にできる水を必要としているのです。ましてや一般の家庭では・・・ロータリークラブは世界各地で井戸の設置や浄水設備の設置、その設備の維持管理を行う地域住民の能力向上への支援、更には水と衛生に関する仕事に従事する人達の育成を行っています。皆様には今までも多大な協力を頂いておりますが、この月間を機に再度認識を深め支援を拡げる活動を頂ければと思います。

また3月13日を含む一週間は世界ローターアクト週間です。第2510地区では現在5つのローターアクトクラブが活動しています。其々活発な活動をして頂いており、その内容は彼らのホームページに掲載されています。地区のホームページにもリンクしているので是非ご覧ください。また第2510地区ローターアクトはアジア第1ゾーンに所属し、今年9月には札幌で開催する代表者会議のホストを務める事となっています。提唱クラブは勿論の事それ以外のクラブでもローターアクトに対する理解を深めるきっかけにして頂きたいと思っています。

いよいよ武部ガバナーエレクトも次年度に向けスタートしています。私達も更に「世界へのプレゼントになろう」を実践してまいりましょう。



## サンディエゴ(アメリカ)国際協議会に参加して

国際ロータリー第2510地区

ガバナーエレクト **武部 實** (札幌南RC)

私たち国内34人のガバナーエレクトは昨年7月に初めて顔を合わせました。その後9月には配偶者同伴の2日間のガバナーエレクト研修セミナーがあり、12月にも3日間の配偶者同伴の研修セミナーを受けました。この間2度配偶者同伴の懇親会があり、同じ境遇の立場から私たちガバナーエレクトは深い友情で結ばれました。

国際協議会の恒例になっている「国際祭りの夕べ」は各国が民族衣装を着て、歌や踊りで競い合う祭典です。私たち日本チームは山形の花笠音頭を踊ることになりました。浴衣、男性用のはんてん、傘等、幹事さんたちのご努力で国内での準備が完了し、12月のガバナーエレクト研修セミナーの折、早速東北地方のガバナーエレクト夫人たちの指導により練習が始まりました。



ご夫人たちから声の大きい人がリードしてくれないと練習にならないと言われ、私がリーダーにされました。私はあまり出過ぎると嫌われると思い最初は遠慮していたのですが、いつの間にかご夫人たちにおだてられ練習の中心になってしまいました。

私は妻を伴い1月16日土曜日いよいよ魔の研修と言われる国際協議会に向け出発致しました。サンディエゴの国際協議会は1月17日(日)～1月22日(金)までの6日間の日程で行われました。この間の自由時間は1月20日午後4時からの一度だけでした。そのため軍港の美しい都市と言われているサンディエゴ市内すらも観光出来ませんでした。

1日の基本的スケジュールは、配偶者同伴で8時30分から1,200人参加の本会議が始まります。この会議は1時間の同時通訳の会議です。本会議後休憩を挟みガバナーエレクト、配偶者がそれぞれ分かれての分科会です。分科会は日本人の研修リーダーの下で2グループに分かれて行われました。昼食を挟んでの午後からは2回の分科会が行われました。分科会のメンバーはその都度変わります。6日間で本会議が9回、分科会12回のハードスケジュールでした。

しかし、たった1度の自由時間には34人のガバナーエレクトと同伴者がお寿司をメインにした和食のレストランでとっても和やかな懇親会があり、タキシードと和服で正装する晚餐会が2度、会長エレクト主催昼食会、国際祭りの夕べ等、ホテル内に缶詰めの魔の研修と言われている国際協議会ですが、34人のガバナーエレクトとご夫人たちの友情もあって大変楽しい1週間だったと言えます。

帰国の翌日我が札幌南ロータリークラブの新年交礼会に孫娘と参加しました。その翌日から地区幹事さん達とガバナー補佐研修セミナー、地区チーム研修セミナー、会長エレクト研修セミナー、地区研修・協議会の準備等、時差ボケの暇などない毎日が始まりました。各ロータリークラブの皆さんのご協力がなければ地区運営が成り立ちません、どうぞ宜しくお願い致します。





## ローターアクト海外研修報告

地区ローターアクト委員会

委員長 石山 嘉治 (森RC)

当地区ローターアクトクラブでは、ローターアクト6つの目標に掲げられている地域社会と世界各地のニーズ、問題、機会に対する知識と理解を深めること、国際理解と善意を推進することを目的として、海外研修を行っております。

海外研修は他国の文化に触れ、他国の活動を学び親睦と交流を通じて自己研鑽し所属するクラブの奉仕活動に生かし大きく成長する機会であります。



今年度は4ローターアクトクラブ10名のアクトに加え今井義憲、宇戸啓隆地区委員にも参加頂き総勢13名で1月22日～25日、3泊4日の日程で台湾に行つてまいりました。

低気圧の影響も弱まり台湾までの飛行は順調で予定時刻に入国。通常なら夜間でも15度前後の気温ですが雨と低温で寒さに震えるほどでした。

23日あいにくの雨が降りしきる中、台湾アクターと合流する關渡(ワンドウ)駅到着。

そこから淡水町までのサイクリングが雨天により中止となり淡水町散策、旧イギリス領事館見学に変更し、フェリーターミナルで交流会場であるクルーザーに乗船。

降り続く雨で視界が悪いため湾内クルージングを中止し艦内で歓談、懇親致しました。

会場に国際ロータリー第3480地区台北東海ロータリークラブ「林 俊宏」ローターアクト委員長、国際ロータリー



第3480地区ローターアクト委員会委員長「卓 有信」氏の臨席を頂き台北東海RAC、新竹北区RACメンバーと親しく懇談致しました。

林 俊宏ローターアクト委員長は日本に留学経験もあり、また所属しているクラブが日本語で例会を行うなどと話され、ロータリークラブやローターアクトクラブの活動内容について親しくお話をさせていただきました。

台湾アクターが用意してくれたプロジェクターを使い、石川地区代表は第2510地区の各クラブ紹介、その後地区主催の年間行事について地区役員が行事ごとに地区交流キャンプ、地区協議会、地区大会、第2500地区との北海道交流会や全国ローターアクト協議会で他地区との交流を行っていることを説明しました。

行事説明の後石川地区代表が北海道の気候、観光等を話し、北海道方言の解説。「なまら」「したっけ」「ばくる」の説明で大爆笑でした。

台湾東海ローターアクトクラブは創立時会長、今年度国際奉仕委員長の「黄 千柔」さんの司会により観光や自然の〇×クイズで盛り上げてくれました。

この度の海外研修は台湾総統選挙直後で、台湾がおかれている現状や日本と台湾の外交、経済の結びつき等多くを学べる機会であったと思います。加えて台湾国籍で、千歳ローターアクトクラブ汪(ワン)会長が台湾滞在期間ツアーガイドをしてくれたお陰で台北MRT(都市鉄道)EASYCARD(悠遊カード)乗車やアクターの希望を聞いて食事の予約、商店街の案内、タクシーの値段交渉等大いに活躍していただきました。



今回の研修によってアクターが以前より太い絆で結ばれ親しくなれたのではと感じ

ております。4日間の親密な一体感は今後の各クラブの奉仕活動や地区行事に生かしてくれることを望んでおります。

今後の海外研修については複数年同一地で交流し、共同で奉仕活動するなど成果を上げられるようなプログラムを組んでみてはと感じました。

今回のローターアクト海外研修旅行は大いなる成果を上げたと思います。

# 新会員合宿セミナー報告

国際ロータリー第2510地区

地区幹事 **武蔵輝彦** (岩見沢RC)

平成28年1月30・31日の2日間、登別グランドホテルを会場に地区として新しい試みである「新会員合宿セミナー」を開催しました。入会3年未満の新会員を対象とした出会いと感動の場の提供をテーマに、ロータリーの素晴らしさを感じてもらいたいとの思いで企画致しました。当日はクラブの行事と重なり残念ながら参加頂けなかったクラブもありましたが、36クラブから90名のフレッシュな会員(中には大ベテランの方々も数名いらっしゃいましたが)の皆様に参加頂き盛大に開催することが出来ました。



初日トップのプログラムは国際ロータリー第2830地区、関場慶博パストガバナーより「だからこそロータリー」の題目で講演して頂きました。若き日の体験談、ロータリーでの経験談を交えロータリーの魅力を熱く語って頂きました。



その後は10のグループに分かれてのグループ討論、ワークショップへと移っていきます。宿泊の部屋割りと連動したグループ分けはクラブごとではなくランダムに組み合わせ、今日初めて会った人たちで一つのグループとなりました。これには戸惑われた方、クラブの仲間と夜飲む計画を立てられていたのでややお怒りの方、色々ありましたがそこは皆ロータリアン。何とかなったようです。ワークショップでは不慣れな方も多く最初はなかなかうまく進行しなかったグループもあったようですが次第に打ち解け、活発な討議がなされていきました。時間の制約もあり途中で中断、懇親会後の部屋でのミーティングに持ち越したグループもたくさんありました。

懇親会では登別ロータリークラブ中牧会長のお計らいで、



素晴らしい料理が並び皆さん大満足の様子でおのずと会話も弾んでいきました。懇親会お開きの後は各自部屋に集まってワークショップの続き、ロータリー談義に花を咲かせ、もちろんロータリーと関係のない話で盛り上がっていたチームもありますが夜遅くまで懇親を深めていらっしゃいました。

明けて2日目。「ロータリアン」という人たち・・・昔と今のテーマのもと丸山淳士パストガバナーの講演が始まりました。軽妙な話術と深い示唆に富んだお話で涙と笑いの1時間となりました。



その後、昨日のグループ討議の発表がありました。皆さん昨日初めて会ったとは思えないチームワークの良い発表となりました。あるグループでは次の地区大会での再会を誓い合ったという発表もあり企画した側としてはうれしい限りです。

今回参加頂いた皆様の本音はなかなか聞けませんがこれからのロータリー活動の糧になれば幸いです。皆様のご活躍を心よりお祈りいたします。

最後に参加頂いた皆様はもとより、快く送り出していただいた各クラブの会長・幹事様、そして会員皆様に感謝申し上げ報告とさせていただきます。



# ロータリーコーディネーターニュース

2016年3月号

## 公共イメージについて考える

第1ゾーン ロータリー公共イメージコーディネーター補佐 (ARPIC)

RID2570 鈴木 秀 憲 (吹上RC)

ロータリーは、毎年行われるリーダー交代による継続性確保の課題を認識し、一方で変化が激しく、予測が極めて困難な環境を考慮し、長期計画を組織運営の為の具体的な計画として位置づけ、2007年6月、RI理事会が2007-10年度の国際ロータリーの長期計画を承認しました。これにはロータリーの使命、ビジョン、優先項目、目標として提案された内容が検討され、7つの優先項目とロータリーの基本的信条を表す5つの中核的価値観も含まれました。

3年後の2010年に見直しが行われ、整理され、現在と同じ3つの優先項目になりました。(2011年11月に、Strategicの日本語訳が「長期計画」から「戦略計画」になりました。)

これが、更に3年後の2013年に再度見直され、引き続き「現在の内容」になっています。

その優先項目の一つ「公共イメージと認知度の向上」について考えてみましょう。

この項目について考えると、一つは「ロータリーが行っていることを世間にご理解頂く為に周知する事。」つまり「どのように世間へお伝えするのか？」という事=方法論ですが、私は「世間へお伝えすべき事項は何か？」という事つまり内容論を真っ先に考えます。

そして大切な事は「世間が必要としていることを行えば、結果として『ロータリーの公共イメージ』がアップする。」と考えます。世間があまり必要としていない事を行っても、ロータリーの公共イメージは向上しないで、「マスターベーションを行っている」と受け取られかねないと考えます。マスターベーションという表現は酷いとしても、「公共イメージの向上」には繋がらないと思います。

それともう一つ、同じ地域に複数のクラブがあり、夫々が異なる奉仕活動を行っている、世間の方からは、やはり「ロータリーって何をやっているかよく解らない。」と思われま。

従って「奉仕活動をどのように行うか？」が、肝心です。つまり何が公共の為になるかです。

この事を、クラブで(場合によったら同一地域の他のクラブも含め合同で)、或は地区で議論して、公共の為(公益)の事業を試みる必要があります。

又、当初は意義があった奉仕活動でも、年月を経ると意義や意味が薄れることもあります。奉仕活動の見直しつまり「スクラップ&ビルド」も考える必要もあります。新しいジャンルの奉仕活動を行う事によって、新たな観点からの会員勧誘につなげる事も出来ます。

更に地区補助金を活用して公益事業を行い、同時にこの事を世間へ広報したら如何でしょうか? 公益性の強い奉仕事業であれば有るほど、黙っていても世間で周知され、公共イメージや認知度は向上することでしょう。

# ロータリー、 来し方行く末

連載 第9回

## 転轍手待望論

国際ロータリー第2510地区

パストガバナー 塚原房樹  
(札幌東RC)



「奉仕」「増強」「財団」というロータリーの「お守り言葉」を離れて、もっと広くロータリーを社会科学の目で眺めてみるとロータリー運動の別の面が見えてきます。

ロータリーは110年の歴史の中で何度かパラダイムシフト（社会全体の価値観などが革命的にもしくは劇的に変化すること）を経験しました。

1905年、初期資本主義が独占体制のピークを迎え、資本主義の欠陥が至る所に現れたそのパラダイムシフトのさなか、シカゴの街でロータリーは生まれました。何か社会のためになることをしようと小事業主4人が集まりました。ロータリーの誕生です。ドイツの社会学者ウェーバーによれば歴史上、パラダイムシフトが現れた時代には、預言者が転轍手（軌道を変える人、ポイントマン）の役割を果たすといわれています。

20世紀初頭のパラダイムシフトの時には、ポール・ハリスが転轍手の役割を背負って登場しました。

米山梅吉さんには3人の御子息がおられました。三男の米山桂三氏は慶応大学の教授でした。「父を語る」という手記の中でロータリーの誕生の様態を次のように書いています。『ロータリー運動というものは、社会経済史的に見て、資本主義の発達という歴史的必然と、資本主義の欠陥を救おうとする人物の出現という、歴史的偶然との交錯したところで生まれた運動である』もちろん資本主義の欠陥を救おうとする人物とは、ポール・ハリスのことです。

ロータリーは誕生の時から資本主義の欠陥を救う宿命にあったのです。

当時のロータリアン達は、職業奉仕の理念である厳しい『道徳律』を真摯に学びました。そして彼らの志すところは、資本主義が人間を食物にすることだけは許すまいということでした。もちろんロータリーは精神運動ですから、どの程度の効力があつたのかは定かではありませんが、資本の論理の勝手な横行に一応のブレーキはかけられました。

しかしそれにもかかわらず、ロータリーは変化する世界の流れを変えることはできませんでした。ロータリー自体も組織の拡大、膨張に伴って奉仕の目標も変質してしまいました。

そして現在、我々は国際ロータリーの大きな方針転換によりパラダイムシフトに遭遇しました。RIでは手段を選ばぬ会員増強が至上命令となり、ついに長らくロータリーの指導指針であつた職業奉仕の理念はなくなりました。職業奉仕は日本のロータリアンのDNAです。我々はいかにすべきでしょうか。

この先ロータリーはどこへ行くのでしょうか。私の畏敬する佐藤千寿さんの言葉を頼りに三つの道をお占めしてみましよう。

### 《考えられる第一の道》

たとえロータリーの会員数が減少しても、かつてのポール・ハリスのような「転轍手」が現われて、かつてのロータリーの思想や理想の力強い復活が起こり、人間の営みが続く限り、職業奉仕こそロータリーの永遠の中心課題であるという点に目覚めること。

### 《考えられる第二の道》

ロータリーも今ではいよいよWe serveを標榜するライオンズと同様になり、その路線の相互乗り入れも行われるようになる。双方のクラブの会員になることも許され、最終的には世界最大の奉仕団体を誇示すべく両者の合併も考えられる。

### 《考えられる第三の道》

各地域がそれぞれ大幅の自由裁量権を持つ半独立組織となり、国際ロータリーは連邦政府の役割を果たすという制度。R.I.B.I.は先見の明がありました。

理念において、またその行動規範において、成熟社会と未成熟社会を全く同一に律しようとする処に、そもそも無理がある。価値観の分裂、多様化に対処するためにこれが妥当な道かもしれません。

許されるなら、ウェーバーの言うように、我々が今抱えているロータリー内部のパラダイムシフトに正しい軌道を示すことのできる転轍手・ポイントマンの出現を熱望したいものです。

## ～米山奨学生のご紹介～

### 大好きな日本で頑張っていきたい

張 雲帆 (小樽RC)

私は中国の常州から参りました張 雲帆です。日本に来て、5年目になりました。今は小樽商科大学商学部4年生です。専門は財務会計と国際会計です。去年の4月から、ロータリー米山記念奨学会の奨学生になりました。とても光栄だと思っております。

私は日本にいる5年間、経済面においても勉強面においてもたくさんの日本人の方々に支援されてきました。これらの方々のおかげで私は日本での生活を充実感をもって暮らすことができている。日本社会からたくさんの恩恵をいただいた私は必ず、日本社会のためにそして世界交流のために貢献したいと思っています。

そこで、私は普段の日常生活においても、様々な日本人の方との交流を通じ、日本文化を尊重したうえで、積極的に物事に関する意見交換をしていきたいと思っています。それによって、普段の生活等の小さな場面においても、自分自身の力を通じて、交流を促進することができると思います。この私は必ず、大好きな日本で頑張っていきたいと思っています。



## ポリオプラス 委員会より

野生型ポリオは昨年より確実に減ってきています。しかし今撲滅の手を休めると又増えてくる事になります。今期の募金目標額は会員1人30ドルとなっておりますが、金額は基よりお願いしたい事は地域の皆様へポリオ撲滅の意義と募金を行うキャンペーン活動です。是非昨年同様各クラブの皆様には地域に対するポリオ撲滅のキャンペーンを計画をお願い申し上げます。

END  
POLIO  
NOW

### 野生型ポリオ症例数

2016年2月10日現在

	国	2016年 今年に入って	2015年 同時期	2015年 年間合計	麻痺が発生した 最後の年月日
常在国	パキスタン	1	7	54	2016年1月17日
	アフガニスタン	0	0	20	2015年12月20日
世界合計		1	7	74	

### 【世界はポリオウイルス撲滅まで後少しです。】

#### 《アフガニスタン》

新しい野生型ポリオウイルスの最近のケースでは、2015年12月20日発症が確認されました。2016年12月20日を過ぎても発症例が見られなければ常在国から外れることになります。

#### 《パキスタン》

残念ながら新しい野生型ポリオウイルスが2016年1月17日に発症しました。

野生型ポリオウイルスの昨年発症例はアフガニスタンとパキスタンの2国になりました。現在、野生型ポリオウイルスは、2型と3型の発症例も無く、残りは1型だけになりました。

ロータリーは第1に野生型ポリオの撲滅を目指しております。

又、ワクチン由来ポリオウイルスは、昨年世界で28例発症が確認されましたが、97%以上2型ワクチン由来ポリオウイルスに依るものでした。WHOは、2016年4月から野生型ポリオウイルス2型の発症例が無いことから、3価経口ポリオワクチンから2型のポリオウイルスを含まない2価経口ポリオワクチンを世界同時に切り替えることを発表しています。

2価経口ポリオワクチンは、多くの国ですでに認可されていますが、4月までにWHOの事前審査に基づき許可が急がれます。これにより、野生型ポリオウイルスの撲滅と共に、ワクチン由来ポリオウイルスの撲滅も期待されます。

## 文庫通信



(341号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万4千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

### 最近のロータリー資料から

[下記申込先：ロータリー文庫]

「『会員増強』は誰のため？」 野中玄雄 2015 2p (D.2730月信)

「会員増強および拡大月間に寄せて」 貞方正一 2015 2p (D.2740月信)

「会員増強・拡大特別月間特集」 2015 5p (D.2820月信)

「会員増強ドリームプランの実践」 野上征利 2015 6p (第43回ロータリー研究会報告書)

「韓国の会員増強と維持について」 SangKoo Yun 2015 3p (第43回ロータリー研究会報告書)

「会員を引き込む」 2015 2p (D.2570会員増強セミナー資料)

「サクセス・ジャパン大作戦 10万人会員を目指して」 松宮 剛・北 清治・辰野克彦 2015 2p (D.2570会員増強セミナー資料)

「会員は何故減少するのか。会員増強に妙手はあるのか。どうあるべきか 今後のロータリー」 久野 薫 2015 20p (新ロータリーを語る)

## ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階

TEL (03) 3433-6456 FAX (03) 3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館/午前10時～午後5時 休館/土・日・祝祭日

米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます

■米山功労者

美唄RC 阿部 稔 会員(7回) 1月29日 : 小樽RC 飴谷 佳一 会員(1回) 1月6日

■米山功労クラブ

札幌RC 34回 1月21日 :

ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます

■マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

札幌RC 指川 司 会員(1回) 1月21日 : 札幌北RC 佐々木 仕 会員(2回) 1月29日  
 札幌北RC 栗原 清昭 会員(2回) 1月29日 : 札幌北RC 渡邊 靖司 会員(1回) 1月13日  
 札幌北RC 佐々木 宏 会員(2回) 1月29日 :

■ポール・ハリス・フェロー

札幌北RC 長嶋 百利 会員 1月13日 :

**新 会 員 の ご 紹 介** (敬称略)



静内RC  
**新谷 寧**  
 10月21日入会  
 電力供給



千歳RC  
**吉本 修**  
 1月7日入会  
 不動産賃貸



札幌はまなすRC  
**三浦希予史**  
 1月12日入会  
 塗装業



千歳RC  
**佐々木義朗**  
 1月14日入会  
 温泉旅館



江別RC  
**奈良 利幸**  
 1月14日入会  
 土木工事



岩見沢RC  
**神田 薫朋**  
 1月21日入会  
 損害保険代理店



札幌はまなすRC  
**渡邊 浩美**  
 1月26日入会  
 グラフィックデザイナー



千歳RC  
**林 俊樹**  
 1月28日入会  
 銀行業務



岩見沢RC  
**佐々木修司**  
 1月28日入会  
 普通銀行



留萌RC  
**鳴原 孝拓**  
 2月1日入会  
 保険業



小樽RC  
**佐藤 斉**  
 2月2日入会  
 電力供給



江別RC  
**野呂 三之**  
 2月4日入会  
 整形外科



江別RC  
**兼子 弘詔**  
 2月18日入会  
 仏教

## 地区カレンダー（3月・4月）

3月 水と衛生月間	
1 (火)	
2 (水)	
3 (木)	
4 (金)	
5 (土)	～6(日) 2016-17会長エレクト研修セミナー（札幌）
6 (日)	2016-17地区財団セミナー（地区補助金 管理セミナー）・地区米山セミナー（札幌）
7 (月)	
8 (火)	
9 (水)	
10(木)	
11(金)	
12(土)	
13(日)	
14(月)	
15(火)	
16(水)	
17(木)	
18(金)	
19(土)	第4・第5グループ合同IM(札幌)
20(日)	
21(月)	春分の日
22(火)	
23(水)	
24(木)	
25(金)	
26(土)	
27(日)	第6グループIM(小樽)
28(月)	
29(火)	
30(水)	
31(木)	

4月 母子の健康月間	
1 (金)	
2 (土)	第7グループIM(千歳)
3 (日)	
4 (月)	
5 (火)	
6 (水)	
7 (木)	
8 (金)	
9 (土)	第2グループIM(滝川)
10(日)	2016-17年度地区研修・協議会（札幌）
11(月)	～15(金)2016年規定審議会(米国・シカゴ)
12(火)	
13(水)	
14(木)	
15(金)	
16(土)	
17(日)	第8グループIM(えりも)
18(月)	
19(火)	
20(水)	
21(木)	
22(金)	
23(土)	
24(日)	
25(月)	
26(火)	
27(水)	
28(木)	
29(金)	昭和の日
30(土)	

※大韓民国第3700地区の地区大会は  
5月30日に変更

**2016年3月のロータリーレート 1ドル 116円**

# 出席率・会員数

グループ	クラブ名	例会数	会 員 数				出席率
			2015.7.1	2016.1.31	増 減	内女性	
1	深 川	3	34	36	2	3	86.88
	羽 幌	4	43	46	3	2	75.55
	妹背牛	3	11	11	0	0	81.81
	留 萌	3	38	41	3	3	78.03
	小 計		126	134	8	8	80.57
2	赤 平	3	26	25	-1	0	77.60
	芦 別	4	37	35	-2	2	80.32
	砂 川	4	37	39	2	0	93.59
	滝 川	4	78	87	9	4	78.00
	小 計		178	186	8	6	82.38
3	美 唄	4	32	31	-1	0	85.38
	江 別	3	31	33	2	1	90.78
	江別西	3	26	24	-2	3	87.50
	岩見沢	3	73	77	4	0	94.28
	岩見沢東	3	22	23	1	3	79.73
	栗 沢	3	22	22	0	1	91.90
	栗 山	4	22	27	5	5	95.06
	当 別	3	27	28	1	0	82.33
	小 計		255	265	10	13	88.37
4	札 幌	3	117	128	11	2	98.12
	札幌はまなす	3	16	18	2	3	88.60
	札 幌 北	3	34	39	5	3	87.51
	札幌モーニング	4	39	39	0	0	71.53
	札 幌 西	3	51	51	0	8	82.43
	札幌西北	4	32	32	0	3	82.30
	札幌手稲	4	37	37	0	4	91.05
	小 計		326	344	18	23	85.93
5	札 幌 東	4	122	125	3	0	96.96
	札幌清田	3	16	15	-1	4	100.00
	札幌幌南	4	70	70	0	13	100.00
	札幌真駒内	4	24	23	-1	5	100.00
	札 幌 南	2	79	81	2	0	98.15
	札幌大通公園	3	13	13	0	1	58.97
	新 札 幌	4	24	23	-1	3	83.82
	小 計		348	350	2	26	91.13
6	岩 内	3	19	21	2	1	79.12
	倶知安	4	39	40	1	5	71.20
	小 樽	4	74	75	1	2	85.52
	小樽南	4	73	72	-1	3	81.60
	小樽銭函	4	19	19	0	1	75.00
	蘭 越	2	10	10	0	0	100.00
	余 市	4	48	48	0	5	82.30
	小 計		282	285	3	17	82.11

1 月出席率・ 会員増減数	クラブ数	70クラブ
	期首会員数	2,526人
	当月末会員数(女性)	2,616人(140人)
	増加会員数	90人
	当月平均出席率	83.14%

グループ	クラブ名	例会数	会 員 数				出席率
			2015.7.1	2016.1.31	増 減	内女性	
7	千 歳	4	54	58	4	3	88.03
	千歳セントラル	4	38	38	0	4	71.71
	恵 庭	4	46	49	3	2	87.38
	北 広 島	3	17	19	2	1	85.18
	長 沼	2	19	18	-1	3	77.77
	由 仁	4	8	9	1	0	72.22
小 計		182	191	9	13	80.38	
8	えりも	4	18	19	1	1	100.00
	三 石	3	13	13	0	1	76.26
	様 似	3	21	21	0	1	79.37
	静 内	4	64	68	4	1	90.12
	浦 河	3	22	24	2	0	86.11
	小 計		138	145	7	4	86.37
	9	伊 達	3	55	57	2	0
室 蘭		4	30	37	7	1	52.03
室蘭東		4	34	35	1	0	79.30
室蘭北		4	40	41	1	3	71.34
登 別		4	32	32	0	1	84.38
洞爺湖		2	9	9	0	0	83.30
小 計		200	211	11	5	75.76	
10	函 館	4	82	86	4	1	76.68
	函館亀田	3	41	42	1	4	87.56
	森	4	33	36	3	0	88.70
	七 飯	3	17	17	0	0	72.30
	長万部	2	8	8	0	0	68.75
	函館セントラル	4	22	22	0	2	72.46
	小 計		203	211	8	7	77.74
11	江 差	4	12	12	0	1	68.00
	函館五稜郭	4	51	50	-1	0	86.67
	函 館 東	3	47	48	1	5	72.08
	函 館 北	4	21	22	1	0	94.10
	北 斗	4	13	13	0	0	71.10
	松 前	2	4	4	0	0	75.00
	小 計		148	149	1	6	77.83
12	白 老	3	33	33	0	2	82.00
	苫小牧	4	51	54	3	2	83.92
	苫小牧東	4	27	28	1	6	84.82
	苫小牧北	4	29	30	1	2	93.73
	小 計		140	145	5	12	86.12
合 計		2,526	2,616	90	140	83.14	

※札幌幌南RCには札幌幌南ライラックロータリー衛星クラブの会員数13名(内女性会員8名)を含む





---

## 表紙の解説

---

### ■ 江差・姥神大神宮渡御祭

歴史の浅い北海道にあつて、日本を代表する神事として誇れる数少ない祭りで、北海道の指定文化財になっています。

江差町は、その歴史は古く北前船と鱈漁で栄えたまちで、今でも往時を偲ばせる歴史的建物、伝統芸能、例大祭が江差町の人々によって代々受け継がれています。姥神渡御祭は光格天皇(1780年)から正一位の位を戴いた日に因み8月9日から3日間行われます。山車(ヤマ)は1751年から1764年に作られた神功山、武者人形、能楽人形、文楽人形、歌舞伎人形などそれぞれの地区が所有する13台のヤマが3台の御輿をお供する形で町内を練り歩きます。山車はそれぞれ由緒があり、中でも松寶丸(写真中央)は豪華さでひととき目を引きます。

第11グループ ガバナー補佐 松見 修二(函館北RC)